

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第2グループ(王禅寺・虹ヶ丘・柿生)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 王禅寺子ども文化センター ①年間延べ利用者数	14,255人	16,871人	②年間延べ利用団体数	181団体	171団体		
2 王禅寺中央小学校わくわくプラザ ①登録者数	247人	243人	②年間延べ利用者数	11,224人	11,080人			
3 東柿生小学校わくわくプラザ ①登録者数	209人	210人	②年間延べ利用者数	12,206人	12,592人			
1 虹ヶ丘子ども文化センター ①年間延べ利用者数	21,579人	19,892人	②年間延べ利用団体数	134団体	115団体			
2 虹ヶ丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	79人	71人	②年間延べ利用者数	4,641人	5,032人			
1 柿生子ども文化センター ①年間延べ利用者数	20,671人	20,445人	②年間延べ利用団体数	335団体	391団体			
2 柿生小学校わくわくプラザ ①登録者数	357人	343人	②年間延べ利用者数	21,040人	20,883人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 124,809,897 2 支出 人件費 98,636,489 管理費 7,623,683 事務経費 5,457,668 その他経費 7,689,773 合計 119,407,613 3 差引 5,402,284							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全な育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書・事業計画書に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・王禅寺子ども文化センターにおいては、新たに中高生が勉強しやすい環境づくりに力を入れ、定期テスト期間の夕方から「王禅寺自習室」を実施したところ、中高生の利用が前年度の1.3倍に増え、虹ヶ丘子ども文化センターにおいては、高校生による自主企画「ナイトシアターin虹こ文」を実施したり、新しく教科に関する書籍を購入する等の中高生が利用しやすい環境整備を行ったところ、高校生の利用が前年度の約3倍以上に増えた。 ・王禅寺子ども文化センターは老人いこいの家と合築施設であることから、食育講座やスプリングコンサート等を通じて多世代交流が図られた。 ・虹ヶ丘子ども文化センターは特別養護老人ホームが隣接していることから、乳幼児親子との交流事業「ムーブメントであそぼう!」を実施したり、特老ホーム主催の納涼祭に参加したほか、虹ヶ丘小わくわくプラザにおいては、ハロウィン行事を一緒に行うなど、高齢者との交流の場を作った。 ・柿生子ども文化センターにおいては、館内にて地域子育て支援センター事業を実施していることから、自分も幼児期に小学生に遊んでもらったので、何かしたいという小学生の意見を受け、ボランティア「なかよしかきっこ」として、ボールプールの手伝い等、幼児との交流を図った。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズについては、事業実施後のアンケートや館内設置の意見箱、運営協議会や子ども運営会議、保護者懇談会等を通じて適宜把握しており、東柿生小わくわくプラザでは、保護者アンケートの意見を受け、手作り工作「ビー玉迷路作り」を実施したり、虹ヶ丘こども文化センターでは、中高生対象の映画会を開催したいとの要望に応え、新たに高校生の自主企画「ナイトシアター in 虹こ文」を開催するなど、可能なものから順次対応している。 特別な配慮を要する利用者への対応については、柿生小わくわくプラザでは、特別な配慮を要する児童に対して「今日の気分カード」を保護者と協力して作成し、スムーズなコミュニケーションに役立てるようにするなどの配慮を行ったり、巡回相談員による「障がい児対応研修」を別途行う等の対応を図った。 学校及び行政機関との連携については、いずれのこども文化センター及びわくわくプラザにおいて、上智福祉専門学校の実習を受け入れたり、王禅寺中央小や東柿生小、虹ヶ丘小、王禅寺中央中や柿生中の職業体験やボランティア体験を受け入れているほか、王禅寺小わくわくプラザにおいては、玉川大学の学生と連携して環境保全について学ぶ場を提供してもらするなど、積極的な連携が図られている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
		職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。			
	個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。なお、柿生こどもセンターにおいては、「中高生対応研修」「防犯防災研修」等、職員が代表で出席した合同研修について、館内で共有するための研修を行った。 個人情報等の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を定期的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 利用者の安全確保については、グループ全職員に普通救命講習の受講を義務付け、有事に備えるとともに、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、王禅寺こども文化センターでは、食物アレルギー事故防止のため、運営協議会共催行事において、顔写真入りパスカードの発行を義務づけ、子どものアレルギー有無を明確にするなどの対応を図った。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 					

収 支 計 画 ・ 実 績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を長年に渡り行ってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。
 また、各種イベントを実施する際には、子ども運営会議の委員が自ら企画・運営できるようなサポート体制を取っており、こども文化センターの目的である、青少年の健全育成・社会参加に大きく貢献していると言える。
 いずれの館においても、地域と連携して各種事業や防犯活動を実施しており、高齢者と小学生の交流事業や小学生と中学生の交流事業など、多世代交流や異年齢交流を意識した事業展開が見受けられた。
 さらに、学校や行政、地域の各団体等と連携した事業展開を積極的に行っており、小学生・中学生・高校生のボランティアや職業体験の受入等、地域施設の一つとして果たすべき役割を一定程度担っていると言える。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、職員と子どもが顔の見える関係を築き、中高生を含めた様々な年代の子どもたちにとって、居心地のよい場となるよう努めてもらいたい。
 また、今後は、敷地内に広場がある等の立地上の利点や、地域の実情等を踏まえ、更なる事業展開を実施してもらいたい。